

耳鼻咽喉・口腔系

〔M3-50029X1〕

1 ユニットの概要

耳鼻咽喉・口腔系ユニットでは耳鼻咽喉・頭頸部・口腔・顔面領域の構造と機能、および、その異常によってもたらされる病態を理解し、臨床実習に必要な症候、病因、診断、疾患、病理、治療に関わる基本的な知識を修得することを目的とする。また、ユニットの学修成果（アウトカム）は臨床実習中の学習と合わせて実習終了時に到達していればよいこととする。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の学修成果との関連を示す。

- 耳鼻咽喉・口腔分野に関係する領域（耳鼻咽喉科、頭頸部外科、歯科口腔外科、形成外科）を理解する（③）
- 頻度の高い検査法を概説できる（③）
- 医用機器の原理と使用法を概説できる（③）
- 診療ならびに疾患の探求に必要な方法論（文献の検索、理解など）を実践できる（②③⑥）
- 耳鼻咽喉・口腔系に関わる…
 - 収集した情報から臨床問題解決のための考察ができる（③⑥）
 - 主要な症候・疾患の発症機序、病態生理が説明できる（③）
 - 主要な症候・疾患を診断するための検査が理解できる（③）
 - 主要な症候・疾患の治療が理解できる（③）
 - 主要な症候・疾患の予後が理解できる（③）

- 耳鼻咽喉・口腔系の医療に関わる…
 - 多職種・チーム医療を理解し、医師の役割を理解できる（①④）
 - 社会制度（厚生医療など）を理解できる（⑤）

※主要な症候、疾患、検査、治療

症候

難聴、めまい、耳痛、鼻漏、鼻閉、鼻出血、頭痛・顔面痛、咽喉頭痛、開口障害、嚥下障害、発声障害（嗄声、構音障害）、呼吸困難、顔面頸部腫脹・腫瘍

疾患

中耳炎（滲出性、急性、慢性、真珠腫性）、感音難聴（突発性難聴など）、めまい症（末梢性、中枢性）、顔面神経麻痺、副鼻腔炎（急性、慢性、真菌性）、アレルギー性鼻炎、鼻出血、嗅覚障害、味覚障害、咽喉頭の炎症性疾患（急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、扁桃病巣感染症、急性喉頭蓋炎など）、睡眠時無呼吸症候群、声帯ポリープ、反回神経麻痺、嚥下障害、頭頸部腫瘍（良性、悪性）、耳鼻咽喉科領域の異物、齲蝕・歯周病、顔面外傷、顔面奇形

検査

聴覚検査（純音聴力検査、語音聴力検査、チンパノメトリー、聴性脳幹反応など）、平衡機能検査、嗅覚検査、味覚検査、音声機能検査、嚥下機能検査、超音波検査、画像診断、内視鏡検査、病理学的検査

治療

手術（鼓室形成術、副鼻腔内視鏡手術、扁桃摘出術、喉頭微細手術、気管切開術、頭頸部悪性腫瘍摘出術、頸部郭清術、再建術など）、形成外科手術、リハビリテーション、薬物療法

4 方 略

統合型講義

5 評価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	ミニテスト	知識	
	口頭試問	知識	
	授業の出席	態度	
総括的評価	ユニット試験	知識	90%
	ミニテスト	知識	10%
	その他		
合計			100%
ユニットの単位認定は授業の出席、ユニット試験の結果を主として実習中の態度、レポート、PBLでの学習態度、口頭試問などの結果を加味して最終的に行う。 出席率が70%に満たない場合、ユニット試験は受験できない。			

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

教科書の該当部分を読んでおくこと。

電子シラバスの資料についてあらかじめ印刷し、目を通しておくこと。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：45 分、 復習：45 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

小テストについては、講義中に解説する。

9 教育担当者

ユニット責任者：北村 守正（頭頸部外科学）

教 授 北村 守正 三輪 高喜 志賀 英明 島田 賢一 中野 旬之

准教授 坪田 雅仁 山下 昌信

講 師 酒井 あや 能田 拓也

助 教 川上 理

非常勤講師 吉崎 智一 伊藤 真人 森田 由香 真鍋 恭弘 鈴木 香奈

10 参考図書・文献

系統講義には、担当教員が講義内容をまとめた電子シラバスを用意するので、十分活用して欲しい。ただし、予習や復習時には書籍は必要であるので、下記のことを推薦する。くれぐれも国家試験対策用の参考書のみで済まさぬようにすること。

耳鼻咽喉科学

「標準耳鼻咽喉科・頭頸部科学」第4版 医学書院（大森 孝一 他、編集）

「あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学」中山書店（香取 幸夫 編集）

「New Simple Step 耳鼻咽喉科」総合医学社（渡辺 建介 監修）

形成外科学

「標準形成外科学」第8版 医学書院（平林 慎一 他編）

参考図書

「ネッター解剖学アトラス原書」第7版 南江堂（F.H.Netter 著）

「TEXT 形成外科学」第3版 南山堂（波利井 清紀 他編）

第3学年

耳鼻咽喉・口腔系

学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
前	1	4月01日	(火)	4	講義	耳鼻咽喉科総論	PS-02-16-01	耳鼻咽喉科	志賀教授
前	2	4月01日	(火)	5	講義	聴覚解剖生理	PS-02-16-01, PS-02-16-03	耳鼻咽喉科	真鍋非常勤講師
前	3	4月02日	(水)	4	講義	鼻副鼻腔・解剖生理・副鼻腔炎	PS-02-16-01, PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	三輪教授
前	4	4月02日	(水)	5	講義	アレルギー性鼻炎	PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	三輪教授
前	5	4月03日	(木)	1	講義	喉頭音声	PS-02-16-01, PS-02-16-05	頭頸部外科	川上助教
前	6	4月03日	(木)	3	講義	耳鼻咽喉科感染症	PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	吉崎非常勤講師
前	7	4月04日	(金)	4	講義	口腔咽頭・解剖生理	PS-02-16-01	耳鼻咽喉科	志賀教授
前	8	4月04日	(金)	5	講義	耳鼻咽喉科救急疾患	PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	志賀教授
前	9	4月04日	(金)	6	講義	頭頸部癌総論	PS-02-16-01, PS-02-16-03	頭頸部外科	北村教授
前	10	4月04日	(金)	7	講義	頭頸部癌各論①	PS-02-16-05	頭頸部外科	北村教授
前	11	4月07日	(月)	1	講義	耳鼻咽喉科異物	PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	酒井講師
前	12	4月07日	(月)	2	講義	扁桃疾患	PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	酒井講師
前	13	4月07日	(月)	3	講義	外耳・中耳疾患	PS-02-16-01, PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	森田非常勤講師
前	14	4月08日	(火)	4	講義	睡眠時無呼吸症	PS-02-16-01, PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	鈴木非常勤講師
前	15	4月08日	(火)	5	講義	歯科・口腔疾患①	PS-02-16-05	顎口腔外科	中野特任教授
前	16	4月08日	(火)	6	講義	歯科・口腔疾患②	PS-02-16-05	顎口腔外科	中野特任教授
前	17	4月10日	(木)	1	講義	嚥下障害	PS-02-16-01, PS-02-16-05	頭頸部外科	川上助教
前	18	4月10日	(木)	2	講義	唾液腺疾患	PS-02-16-01, PS-02-16-05	頭頸部外科	能田講師
前	19	4月11日	(金)	4	講義	頭頸部外科各論②	PS-02-16-05	頭頸部外科	北村教授
前	20	4月11日	(金)	5	講義	顔面外傷①	PS-02-16-05	形成外科	山下准教授
前	21	4月11日	(金)	6	講義	顔面の先天異常①	PS-02-16-05	形成外科	山下准教授
前	22	4月11日	(金)	7	講義	顔面の先天異常②	PS-02-16-05	形成外科	山下准教授
前	23	4月14日	(月)	1	講義	顔面の構造	PS-02-16-01	形成外科	島田教授
前	24	4月14日	(月)	2	講義	顔面外傷②	PS-02-16-05	形成外科	島田教授
前	25	4月14日	(月)	3	講義	顔面外傷③	PS-02-16-05	形成外科	島田教授
前	26	4月15日	(火)	5	講義	内耳・顔面神経	PS-02-16-01, PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	伊藤非常勤講師
前	27	4月15日	(火)	6	講義	前庭解剖・生理	PS-02-16-01	耳鼻咽喉科	坪田准教授
前	28	4月15日	(火)	7	講義	平衡機能障害	PS-02-16-05	耳鼻咽喉科	坪田准教授
前		4月18日	(金)	4	試験	本試験			